

## 特集「情報検索の技術とテストコレクション」の刊行にあたって

大 山 敬 三†

## Information Retrieval Technology and Test Collections

KEIZO OYAMA†

本特集の編集にあたっては、近年急速に研究・実用両面での高度化が進んでいる情報検索および関連技術に注目し、国内における最先端の研究成果を集めるとともに、その研究基盤として欠かすことのできないテストコレクションに関する理論的・実践的な研究成果をあわせて提供することにより、この分野の研究のマイルストーンとなることを目指しました。

情報技術の進歩、とりわけ電子出版やワードプロセッサなどの文書作成ツールと WWW の普及により、電子文書の生産量は指数関数的に増大しています。その結果、大量の文書の中から利用者の要求に応えられる情報を探し出すための、情報検索や情報抽出などの技術の重要性が急激に増大してきています。また、WWW のサーチエンジンといった身近な応用が広がることによって、研究の重要性が広く認識されるようになりました。

テストコレクションは、これらの技術の評価のために一定の客観的尺度を与えると同時に、技術開発のためのワークベンチとしても利用できるため、技術の高度化と研究者層の拡大に大きく寄与しています（詳しい解説は「特集 情報検索システムの力くらべ」情報処理, Vol.41, No.8, pp.897-924 (2000) などをご参照ください）。

TOD の編集責任研究会の 1 つである情報学基礎研究会では、情報検索を主要な研究対象分野の 1 つとしており、従前より研究発表と議論の場を提供してきました。また、我が国の主要な情報検索用テストコレクション構築プロジェクトである NTCIR ワークショップに協賛するなど、積極的にこの分野の推進に努めて

まいりました。2001 年 3 月に NTCIR-2 が終了したことを受けて、NTCIR 関係者の協力を得つつ、関連分野の研究成果の発表の場として研究発表会を同年 7 月に開催し、多くのご発表をいただきました（2001 年 9 月からは NTCIR-3 が進行中です）。

本特集は、この研究発表会において情報学基礎研究会から TOD 編集委員会に推薦された発表論文を中心に、特集への投稿論文も加えて、TOD の通常の査読基準に従って審査し採録された論文から構成されています。多数の論文の推薦および投稿をいただくとともに、メタレビューや査読者の方々にはご多忙中にもかかわらず熱心で厳正な査読をいただいた結果、いくつもの重要な論文を収録することができたものと確信しています。本紙面を借りて関係者の方々にご心よりの謝意を表します。

なお、メタレビューにあたっては、論文の専門性などに鑑み、編集委員会委員のほか以下の方々のご協力をいただきました（敬称略、五十音順）。

岩山 真（日立製作所，東工大）

杉本 雅則（東大）

中川 優（和歌山大）

原田 隆史（慶大）

福島 俊一（NEC）

藤田 澄男（ジャストシステム）

† 国立情報学研究所

National Institute of Informatics